

人との出会いが私たちの宝

～ゆうきの土づくりでまちおこし～

福井県福井東商工会女性部 畑地すえ子

夢は終わらせない

私たち商工会女性部は、地域一番！
地区内の各種団体（公民館、JA、防
災協会など）の女性部の方々と連携し
て、小中学校の体育祭や防災訓練、イ
ベントなどの地域活動を行って5年目
になります。商工会女性部が毎年行う
事業には、健康増進事業、美化運動事
業、介護子育て支援事業、エコ環境事
業があり、会員さんと楽しく活動して
おります。しかし、いつも商工会女性
部として「これでいいのだろうか？
もっと何か、もっと…」と漠然とでは

ありますが、考えていました。

「もっと強い何かをほしい、地域の
ために何かをやりたい！」と強く心に
思っていたちょうどその頃、地区女性
部協議会がエコ環境事業に力を入れて
いました。私はすぐに地元で役員会を
開き、商工会女性部の中だけで行って
いた肥料づくりを、新しいビジネスと
しての展開も含めてもっと夢のある事
業にしたいと願い、皆で話し合いまし
た。以前から地元で無農薬農法を広め
ている三上貞子さんを先生として紹介
されていましたし、最近では農商工連
携もうたわれています。商工会に相談
をしながら一歩一歩前に…。

でも、肥料づくりのほかに

も、出資金、法務局への登記、
印鑑証明。「そこまでやらな
いとあかんのかあ？ 本当は
うまくいくんかあ？ 困った
なあ」。皆、迷ったと思います。不安
もあつたと思います。それでも、あの
とき感じた地域への想い、「まだ何か
やれる。もっと地域のためにやりた
い」。その一心で前に進みました。そ
して完成した私たちの無農薬肥料「七
恵の土」。これを多くの人に広めたい。
平成20年12月1日、「あそぞ七恵の
会 有限責任事業組合」が誕生したの
です。

七恵の土 1袋 5kg入 (1kg 150円)



次に記すのは、私の大切な仲間の野菜づくりの様子です。

絹の肌のようなジャガイモづくり

—— 私たちもこの七恵の土で何か作ってみよう！ どれほど美味しいものができるかやってみよう！ そう思っ

て三上先生に相談したところ、「マルチをしてジャガイモを作ってみたら？」とのことでした。私は、祖父の後を継いで畑を20年ほどやってきましたが、ジャガイモは土かけをして育て

「こんなに大きなさつまいもになりました」



ジャガイモがきめ細かな美味しいとれた

てきました。マルチ（雑草抑制、地温調整、水分保持などに効果的なフィルム）をかけてジャガイモを作るなんて、半信半疑だったんです。

でも、一回やってみようと思ひ、さっそく主人に高さ30センチ、幅120センチの畝を作ってもらい、ジャガイモ植えに取りかかりました。最初に種イモを植え、その隣に種イモにかからないようにお椀一杯の七恵の土をやり、また種イモ、七恵の土と3列に植えていきます。その上に幅135センチのマルチをかければ植え付け作業終了です。

10日ほどたってジャガイモの芽がマルチを持ち上げるようになったら、はさみでマルチに十文字に切り込みを入れ、穴から芽を外に出し、穴をふさぐように芽の周りに土をのせます。一つの種イモから芽を2本出し、それ以外はマルチの上から折ります。この頃はジャガイモの芽から目が離せません。芽が出る頃にこまめにチェックをします。

いよいよ収穫です。まず地上部を掘ります。そして、マルチをめくると土の上にゴロゴロとジャガイモが出てきて、最初はとても感動しました。また、ジャガイモのきめが細か

く、まさに絹の肌のようなジャガイモがとれました。

最近、七恵の土を使っていたいている方から、とても嬉しいお話を聞くことができました。この方は、キュウリを2通りで育て、一つは七恵の土だけ、一つは化学肥料で育てたそうです。味を比べてみると、七恵の土で作ったキュウリはとて甘くて美味しいと言ってくれました。

私の畑で作っている野菜は、ナス、オクラ、枝豆、さつまいも、ウコン、ゴーヤ、大根、人参、カブ、ほうれん草、里芋、ニラ、それからプロッコリーとキャベツも植えました。すべて七恵の土で作っています——

商工会女性部と地域のつながり

昨年の全国大会で発表させていただいてから、なお一層私たちは新しい事業の成功を信じ、土づくり、商品づくり、それに夢づくりと楽しく活動に取り組んでいます。今年の春は、商品不足で皆さまに待っていたたくほどでした。七恵の土で育った作物は、花の色は鮮やかで長持ち、野菜は密度が濃くて美味しく安全・安心。地域の皆さまにも「やっぱり味が違うね、美味し

いね」と大好評です。地元のおそば屋さんも七恵の土で育てたネギや大根などを使得、福井が誇るグルメ・おろしそばを提供しています。

最初は小さな夢から始まった七恵の土。それを使った野菜づくり。これからも、未来ある子どもや孫たちに安心して食べてもらえる野菜を、真剣に作り続けていきたいと思っています。

私たちのまちは、名峰・白山を開山された泰澄大師生誕の地です。泰澄大師は、36歳のときに誰も足を踏み入れたことのない白山へと志し、苦しい3年の修行を積まれて開山されたこのことです。今は全国の皆さまからも、美しい山・白山と親しまれ、福井県と隣の石川県をつなぎ、誰からも愛される山です。

この地に根づいた私たち商工会女性部は45年の歴史ある女性部です。先輩が築き上げた伝統を守りながら、地域の皆さまに喜んでいただける女性部でがんばっていききたいと思っています。

全国の皆さま、福井県、またあそびにぜひいらしてください。私たちの明るい笑顔と、福井県産コシヒカリを地酒で炊いたご飯で握った「泰澄大師のおにぎり」をご用意してお待ちしています。